

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	遊園地（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大や、学生団体の減少があった2月と比較すると、今月もいまだに緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の影響で、集客は伸び悩んでいるが、ゴールデンウィーク期間にCS（顧客満足）施策や、チケット販売の強化を実施した結果等により、1か月間の来場人員は、2月実績の2倍以上に増加している。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・1人当たりの買上点数が多くなっている。
	○	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検及び一般整備は目標に達している。車両販売は新車の問合せや契約も若干ではあるものの増えてきている。車両販売に関しては、客の職業が、新型コロナウイルスの影響を受けているかどうかで、大きな格差が生じているようである。
	○	自動車備品販売店（従業員）	単価の動き	・半導体不足の影響を受け、カーナビ等の高額商材が品薄で、売上が伸びにくいなかでも、客単価、来客数共に、前年を超えているので、景気はやや良くなっている。
	○	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・3か月前は新型コロナウイルス感染拡大の第3波により緊急事態宣言が発出されていたため、ほぼ売上がなかった。現在は第4波による緊急事態宣言中だが、僅かではあるものの、人が動いており、週末は25%程度の稼働率で営業している。しかし、平日は宿泊客がいないため、2週間前の時点で予約の入っていない日は、全て休業としている。
	○	タクシー運転手	販売量の動き	・前年比148%と回復してきたが、前々年と比べると、まだ65%である。
	○	ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・予約は順調に推移している。相変わらずシニア層の来場が多い。ゴルフ場側で新型コロナウイルスの感染防止対策を強化することで、安心してプレーしている様子がうかがえる。
	○	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・ホームページからの物件問合せや見学の申込みが増加している。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・駅前立地のため、隣県の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用地域に囲まれて、主要幹線の新幹線乗車率が下がったままで、売上回復が見込めない。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍のなかでも、生活自体は落ち着いているように見受けられる。ただし、消費意欲はみられず商材の動きは良くない。夏商戦に入ってきたものの季節商材の動きも鈍い。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・夏物商材、エアコン、冷蔵庫等が、例年より少し遅れている。
	□	スーパー（経営者）	お客様の様子	・売上は前年比で3%増、来客数は5%減となっている。前々年度との比較では売上、来客数共に23%減である。新型コロナウイルス発生以前には、なかなか戻れない。現在、中小企業等事業再構築補助金の申請を地元信用金庫の支援を受けて準備中である。大きなイベントがないので、店内でパンの製造を検討中である。
	□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前年と比較して天候が悪い。
	□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・人が街に出てこない。
	□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言下での往來の影響もあり、来客数減少が続いている。
□	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったが、ゴールデンウィーク中も客の動きが鈍く、回復までには時間が掛かりそうである。	

□	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・3か月前は、通常、降雪というハンディキャップがあるため、12か月のなかでも客足が非常に弱い時期である。例年なら今月はゴールデンウィーク等があり、天候も良く、2月に比べて客足がぐっと伸びる時期だが、当県独自の営業時間短縮要請に伴い、それほど変わっていない。昼の営業は良くなったが、ディナー営業は前月に比べて10%ほど落ちている。
□	旅行代理店(副支店長)	お客様の様子	・相変わらず、客の動きが全く止まった状態で、この先の受注もかなり減少している。ゴールデンウィークも動きが悪く、家族での日帰り旅行は見受けられた。新型コロナウイルスの感染状況もあるが、3か月前と変わらない。
□	通信会社(経営者)	お客様の様子	・地方の新型コロナウイルス感染拡大に加え、高齢者向けのワクチン接種の混乱等で、動きが止まっている。
□	通信会社(社員)	販売量の動き	・OTT(オーバー・ザ・トップ、インターネット回線を通して行われるコンテンツ配信サービス)の問合せが増えてきている。テレビからオンデマンドでの視聴にシフトしつつある。
□	観光名所(職員)	来客数の動き	・陽気が良くなり、近県からの観光客が多少動きつつある。ただし、緊急事態宣言発出中の地域からの個人客、旅行社のツアー設定はほとんどなく、当然インバウンドも皆無である。新型コロナウイルス発生以前と比較すると、入込客数は3割にも満たない。
□	その他サービス [葬祭業](経営者)	お客様の様子	・今月は1人暮らしで亡くなった高齢者のアパートの整理の仕事が多かった。亡くなった方と同様に高齢の兄弟からの依頼である。
▲	商店街(代表者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数は低位にある当地だが、客の気持ちは大都市並みで、完全な自粛ムードである。元々、来街者が減少傾向のところ自粛ムードが重なり、全く人影のない時間が長くなっている。
▲	スーパー(経営者)	来客数の動き	・前年の巣籠りの反動と天候不順で、客足が鈍い。
▲	スーパー(店長)	来客数の動き	・来客数は前年比では非常に悪い。買上点数は上がっているものの、1品単価が下がっている。
▲	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響を受け、来客数が落ちている。感染状況がずっと厳しいので、なかなか売上が伸びてこない。
▲	コンビニ(店長)	来客数の動き	・今月は、午前中から昼にかけてと、客の動く時間帯がかなり変わってきて、厳しい状況になっている。理由は分からないが、客の動きが変わってきている。
▲	乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・半導体不足の影響で新車の供給が滞っており、販売に影響が出始めている。
▲	乗用車販売店(経営者)	お客様の様子	・車両販売は台数的には、前々年実績を取り戻しつつあるものの、軽自動車の割合が増えており、従来のような購買意欲はみられない。
▲	高級レストラン(経営者)	来客数の動き	・いまだに新型コロナウイルスの感染拡大が収まる気配が見られないため、客足は遠のいている。
▲	ゴルフ場(経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスのまん延の終息が見えないなか、度重なる時短要請にもかかわらず、補助金額も減額傾向にある。「もう限界」という事業者の声も聞こえるようになってきている。
▲	設計事務所(経営者)	来客数の動き	・今まで滞っていた仕事も、徐々に処理して落ち着き始めている。
×	商店街(代表者)	お客様の様子	・新学期が始まり、クラブ活動もいろいろと動いて良くなると思っていたが、新型コロナウイルスの関係で、クラブ活動のほとんどが中止になっている。また、運動会も取りやめのところが多い。このような状況は店が始まって以来で、どうなるかと不安で仕方がない。
×	百貨店(店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったこともあるのか、今月に入り、特に、高齢者の来店が極端に減っている。地方百貨店にとって上顧客である高齢者の来店が少ないのは、非常に影響が大きい。

	×	その他専門店 〔酒〕（店長）	販売量の動き	・平日が非常に良くない。当店は月曜が休みだが、土日は多少客が来店しており、店を開けていることが功を奏している。もし、土日を休みにしていたら、もっと悲観的状况になっているのではないかと。
	×	スナック（経営者）	来客数の動き	・夜、出歩いている人はほぼいない。当地では時短も営業自粛要請も出ていないが、商売にならないため店を閉めているところも多い。新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったことで、接種が終わるまでは出歩かないようにしているのだと思う。とにかく、1日も早く接種を進めてほしい。耐えることしかできない。
	×	スナック（経営者）	お客様の様子	・皆さん御存じのとおり、飲食店はまるで駄目である。客の様子や来客数の動き等いろいろあるが、辞めていく店もある一方で、新規開店する店もある。今どうなっているのか本当に分からない。この新型コロナウイルスにはとても困っている。
	×	都市型ホテル （支配人）	お客様の様子	・緊急事態宣言発出により、宿泊予約のキャンセルが増えている。また、飲食店の時短営業も影響し、ビジネス客の業務後の楽しみも半減されており、出張の取りやめが目立っている。
	×	都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出された都道府県からの利用が大幅に減少している。また、県独自に飲食関係への時短営業要請が出たことで、平日夜の動きはほとんどないに等しい。前年の、初めての緊急事態宣言中よりは利用状況は良いものの、ここ数か月でみると大幅に減少している。
	×	その他レジャー施設 〔ボウリング場〕（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言期間の延長、まん延防止等重点措置の対象地域拡大等により、外出自粛傾向が強まっているのか、客の動きが非常に鈍い。特に、夜間の来客は厳しい状態が続いている。
	×	その他サービス 〔貸切バス〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの変異株感染拡大で、仕事はほとんどない。
	×	その他サービス 〔クリーニング〕（経営者）	それ以外	・当地は観光地なので、観光業が非常に悪く、景気は良くない。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染に対する警戒が長期化し、一部ではあるものの、気の緩みもみられる。もう一度気を引き締める必要がある。
	□	食料品製造業 （総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が再発出されており、延長案も飛び交い予断を許さない状況である。食料品は影響が少ないとはいえ、シェア、前年と比べた金額共に、上がってこない。
	□	窯業・土石製品 製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、相変わらず地元の警戒レベルも高く、ワークショップの来店者及び予約も低迷している。店舗販売、生産品の受注量も僅かである。
	□	金融業（調査担当）	取引先の様子	・半導体関連の需要増加に伴い、製造業の需要も増加している。非製造業は新型コロナウイルスの影響を受けている。首都圏等で緊急事態宣言の期間が延長されたため、特に、観光関連需要が低迷しており、2極化傾向が続いている。
	□	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・東京都に緊急事態宣言が発出されているが、新型コロナウイルス疲れではないが、観光産業は3か月前の宣言時と変わらない。他業種の取引先の様子も3か月前と変わらない。
	▲	食料品製造業 （営業統括）	競争相手の様子	・緊急事態宣言等の再延長により、酒類を提供している飲食店等への影響が大きく、業界全体が大変苦戦している。
	▲	電気機械器具製造業 （経営者）	それ以外	・通常量製品の部材ですら、入荷が懸念されている。
	▲	新聞販売店〔広告〕 （総務担当）	受注量や販売量の動き	・相変わらず、新型コロナウイルスの感染拡大が売上に大きく影響している。

	×	食料品製造業 (製造担当)	それ以外	・原材料の仕入価格が今までで最高に上がっている。他社では、2回目の値上げを要請したら、それが直接の原因か分からないが、スーパー2店舗から契約を切られたそうである。原価、売価を上げないとやっていけないが、状況を見誤ると売上もなくなる場合がある。ただ、行動に移さないと結局は倒産に追い込まれるので、やるしかない。
	×	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィークは緊急事態宣言発出の影響で、デパートの宝飾売場が休業となり、路面店では来店客の大幅な落ち込みから、2～3日来客がほとんどないときもあるほどで、今年になってから、売上が最も悪い月となっている。新商材を見てもらいたくても、訪問を断られることも多く、売上のめどが立たない。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	*	*	*
	□	求人情報誌製作 会社 (経営者)	周辺企業の様子	・前月は募集広告を掲載する企業が多少増加したものの、今月に入り県内の新型コロナウイルス感染者数が増加したため、前月よりも募集広告掲載企業数が減少している。
	□	民間職業紹介機 関 (経営者)	求人数の動き	・求人数が以前よりは良いものの、やや足踏み状態となっている。正社員採用が弱めで、採用基準も高くなり、慎重な姿勢がうかがえる。
	▲	人材派遣会社 (営業担当)	それ以外	・夕方や土日の車や歩行者の通行量が減っているため、消費が激減している。一方、ドライブスルーの店舗等の利用は混んでいるものの、一時的なものであり、それ以外の客はない。ボーナス商戦どころかボーナスが出ない企業が更に増えるだろう。
	▲	職業安定所 (職 員)	求人数の動き	・3月に増加し始めた宿泊業や飲食サービス業の求人が、他県ではあるものの、3度目の緊急事態宣言発出により、4月から大きく減少している。
	×	—	—	—